

平成22年度 田舎で働き隊！ 群馬県甘楽富岡地域

研修期間：23年1月7日～3月7日

研修生：新保隆彦

1. 研修の目標

- 甘楽富岡地域の冬期農業の実態把握
 - 冬期施設栽培農作物の農業体験
 - 就農を踏まえた将来像の模索
-

2. 甘楽富岡地域の概要

- 群馬県南西部に位置する中山間地
 - 古くから養蚕・蒟蒻栽培の地として有名
⇒ 貿易自由化を受け衰退傾向
 - 現在は少量多品目生産を普及させ、
生産力の向上を実現
-

3. 甘楽富岡地域の冬期農業

- 下仁田ネギ、シイタケ、イチゴ、ニラ、小松菜などが収穫されている
 - 冬期は露地栽培よりも施設栽培が盛んである
-

4. イチゴ(やよいひめ)



4-2. 高設栽培と土耕栽培



4-3. イチゴ栽培の特徴

- 高設栽培 ⇒ 作業効率が良い
 - 土耕栽培 ⇒ コストがかからない

 - やよいひめ ⇒ 果肉が固い
 - とちおとめ ⇒ 味が濃い、果肉が軟らかい
-

5. ニラ



ニラの促成栽培（右は収穫後）

5-2. ニラ栽培の特徴

□ 温度管理

⇒ ビニールの開閉による

⇒ 暖房設備が不要

6. 佐藤農園(イチゴ農家)



6-2. 佐藤農園の1日

午前

午後

8:00 ハウス開け

1:00 パック詰め作業

8:30 収穫開始

4:00 ハウス閉め

10:00 出荷

11:00 収穫終了

6-3. 佐藤さんインタビュー

- 天候の変化に応じてビニール掛け、マルチ張り等、作業のタイミングを見極めるのが難しい。
 - 新規就農に当たって、県庁はじめ関係組織の支援は必要だが、人と人とのつながりが大切である。
 - すべて自己責任の農業はやりがいの塊である。
-

7. 茂木農園(イチゴ農家)



7-2. 育苗施設の増設



7-3. 茂木さんインタビュー

茂木一博さん(父)

- モノをつくる喜び、定植から収穫まで自己完結できる仕事である。

茂木恭祐さん(長男)

- 良いものを作ってブランドを確立したい。
-

8. ハウス建設



8-2. ハウス建設にあたって

- パイプの仕入れ（譲り受け＋部分購入）
 - 今のハウスか、将来のハウスか（コスト回収）
 - 先々を読んだ建設作業手順（強度＋効率）
-

9. 就農するにあたって

- 必要最低限の資金を持つ
 - 人と人とのつながりを大切にする
 - 将来のことまで計算できる頭をもつ
 - やりがいを見出す
-